

アジア・ヘルスケア株式ファンド

運用報告書（全体版）

第21期（決算日 2025年6月23日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申しあげます。

「アジア・ヘルスケア株式ファンド」は、2025年6月23日に第21期の決算を行ないましたので、期中の運用状況をご報告申しあげます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申しあげます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	2015年1月16日から原則無期限です。
運用方針	主として、アジア（日本を除きます。）各国の金融商品取引所に上場されている医療関連企業の株式（これに準ずるもの）を含みます。）を投資対象とする投資信託証券（投資信託または外国投資信託の受益証券（振替投資信託受益権を含みます。）および投資法人または外国投資法人の投資証券をいいます。）の一部、またはすべてに投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要運用対象	「日興AMアジア・ヘルスケア・ファンド（JPYクラス）」受益証券 「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券 上記の投資信託証券を主要投資対象とします。
組入制限	投資信託証券、短期社債等、コマーシャル・ペーパーおよび指定金銭信託以外の有価証券への直接投資は行いません。外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	毎決算時、原則として分配対象額のなかから、基準価額水準、市況動向などを勘案して分配を行なう方針です。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。

日興アセットマネジメント株式会社

<642681>

東京都港区赤坂九丁目7番1号

www.nikkoam.com/

2025年9月1日、日興アセットマネジメント株式会社は
「アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社」に社名変更します。
社名変更後URL：www.amova-am.com

当運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター

電話番号：0120-25-1404

午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

【運用報告書の表記について】

- 原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近5期の運用実績

決算期 (分配落)	基準価額					債券組入比率	投資信託券率	純資産額
	税分	込配	み金	期騰	中落率			
17期(2023年6月21日)	円 9,225		円 0		% 2.2	% —	% 98.3	百万円 6,746
18期(2023年12月21日)	9,216		0		△0.1	—	98.9	6,252
19期(2024年6月21日)	9,293		0		0.8	0.1	98.8	6,000
20期(2024年12月23日)	9,926		0		6.8	0.1	98.9	5,275
21期(2025年6月23日)	10,467		0		5.5	0.1	98.9	5,221

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) ファンドの商品性格に適合する適切なベンチマークおよび参考指標はございません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		債券組入比率	投資信託券率	純資産額
	騰	落	率	率	額
(期首) 2024年12月23日	円 9,926		% —	% 0.1	% 98.9
12月末	10,081		1.6	0.1	98.8
2025年1月末	9,906		△0.2	0.1	98.6
2月末	10,049		1.2	0.1	98.6
3月末	10,099		1.7	0.1	98.6
4月末	9,675		△2.5	0.1	98.7
5月末	10,141		2.2	0.1	98.7
(期末) 2025年6月23日	10,467		5.5	0.1	98.9

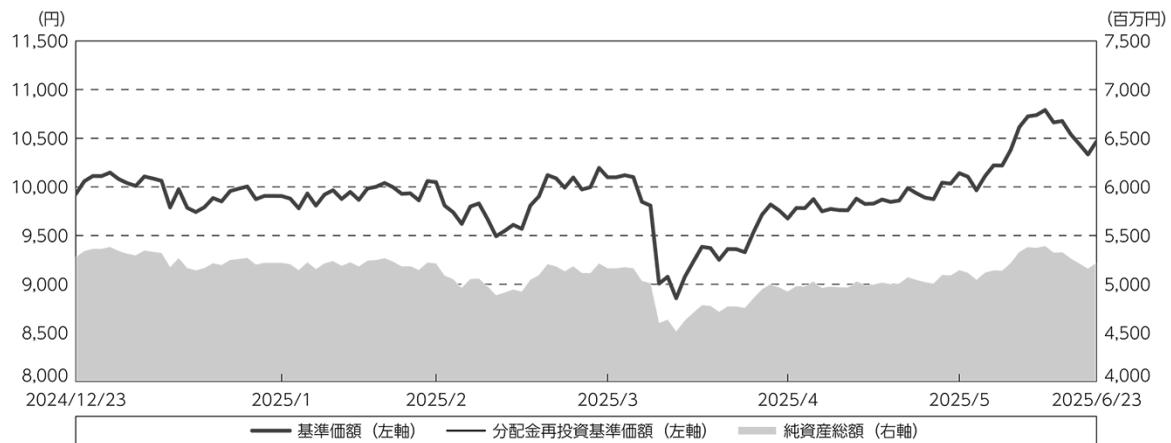
(注) 謄落率は期首比です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

○運用経過

(2024年12月24日～2025年6月23日)

期中の基準価額等の推移



期 首：9,926円

期 末：10,467円 (既払分配金(税込み)：0円)

騰落率： 5.5% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、期首(2024年12月23日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指標が存在しないため、ベンチマークおよび参考指標を設定しておりません。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、日本を除くアジアの金融商品取引所に上場されている医療関連企業の株式を投資対象とする投資信託証券に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行なっております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・中国のヘルスケア市場が堅調に推移したこと。
- ・韓国の銘柄選択が奏功してプラスに寄与したこと。

<値下がり要因>

- ・インドのヘルスケア市場のパフォーマンスが、前期間末比で軟調に推移したこと。
- ・米国の関税計画への懸念などから中国の医薬品関連業務受託機関(CXO)の銘柄が下落したこと。

投資環境

(アジア株式市況)

2025年の序盤は、世界の市場には慎重な姿勢が広がり、冴えない展開となりました。特に投資家の間では、米国政府が4月上旬の「解放の日」に発表する予定の関税措置に関するニュースが待たれていました。4月に入り、トランプ大統領が貿易相手国の大半に大胆な関税を課す計画を発表すると、市場は下落圧力に晒されました。その後、中国を除く大半の国に対して関税実施の一時停止が発表され、中国に対する関税も後に引き下げられました。何らかの貿易協定が合意されるのではとの楽観的な見方が広がると、市場はまもなく下落から回復へと転じました。世界のサプライチェーン（供給網）の複雑さを理由として、医薬品は半導体とともに一連の関税から一時的に除外されましたが、これら2業種については、輸入が国家安全保障に及ぼす影響を判断すべく、通商拡大法232条に基づく調査が開始されました。

アジア市場を牽引したのは中国で、「DeepSeek」のニュースがその材料となりました。中国のスタートアップ企業が提供を開始したこの人工知能（AI）アプリケーションは、OpenAIや米国の巨大IT企業が提供する製品にほぼ匹敵する性能を持ちながら、システムのトレーニング・開発に要する設備投資額が数分の1で済むとされています。中国産のAIアプリケーション「DeepSeek」が待ち望まれていたセンチメントの改善をもたらし、「DeepSeek」の躍進や大手テクノロジー企業の好業績が追い風となり、投資家の間で中国のテクノロジー力に対する関心が再び高まりました。期間中の中国市場は、同国の生成AIおよびバイオテクノロジーの能力進展をめぐる投資家の楽観的な見方に加えて、消費の押し上げや経済全般の下支えをめざす中国政府の景気刺激策が追い風となり、上昇ペースが加速しました。中国の李強首相は、全国人民代表大会（全人代、国会に相当）で、政府の2025年の優先課題は「内需を経済成長の主な原動力および基盤とすること」であると強調しました。

中国のヘルスケア市場は、2025年前半は堅調に推移しました。市場では、中国のバイオテクノロジー分野について「DeepSeekモーメント」（DeepSeek級の熱狂状態）を迎えていたという指摘もありました。世界の大手製薬会社が、中国のバイオ医薬品企業が開発した革新的な医薬品について大規模なライセンス契約を締結するなど、中国の医薬品パイプラインにおけるアセットのクオリティーや革新性が示されており、中国のバイオテクノロジーおよび医薬品企業が高く再評価されています。

(国内短期金利市況)

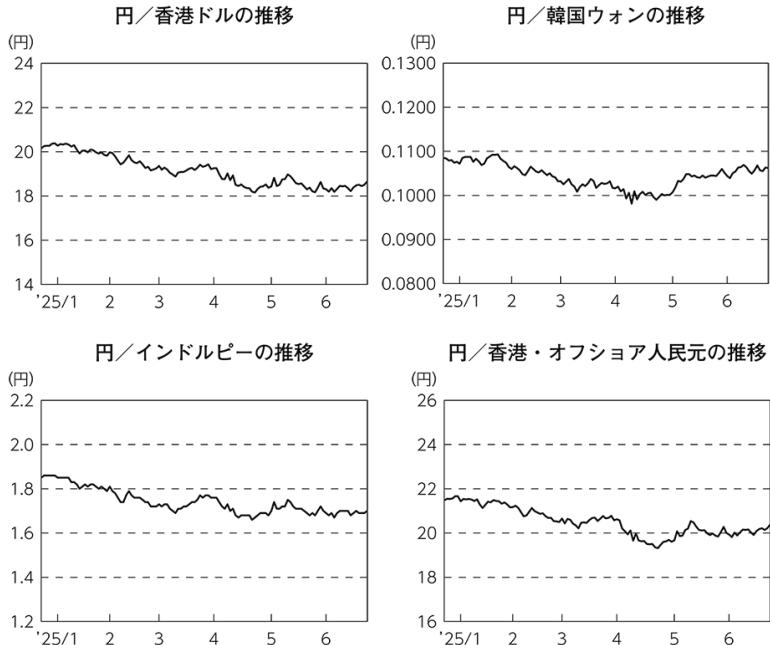
無担保コール翌日物金利は、期間の初めの0.23%近辺から、2025年1月の日銀金融政策決定会合において追加利上げが決定されたことなどを受けて、0.48%近辺で期間末を迎えました。

国庫短期証券（TB）3ヶ月物金利は、期間の初めの0.13%近辺から、日銀による利上げなどを受けて、0.39%近辺で期間末を迎えました。

(為替市況)

期間中における主要通貨（対円）

は、右記の推移となりました。



当ファンドのポートフォリオ

(当ファンド)

当ファンドは、収益性を追求するため、「日興AMアジア・ヘルスケア・ファンド（JPYクラス）」受益証券を高位に組み入れ、「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券への投資を抑制しました。

(日興AMアジア・ヘルスケア・ファンド（JPYクラス）)

期間中のアジアのヘルスケアセクターは、アジア地域全体を下回りましたが、当ファンドのパフォーマンスは、これらを上回りました。

期間中、国・地域別で最もプラスに寄与したのは中国でした。中国の医薬品研究開発製造受託機関（CRDMO）の組入比率を高めとしていたことに加えて、中国のバイオテクノロジー分野の銘柄選択が奏功しました。実際に、当ファンドで保有するポートフォリオ企業のうち3社が大手医薬品企業とのライセンス供与契約を発表し、また保有するバイオテクノロジー企業2社は期間中に株価が上昇しました。特に、当ファンドの主要銘柄であるバイオ医薬銘柄は、2025年1月にライセンス供与契約を発表したことや、6月初めに開催された2025年米国臨床腫瘍学会（ASCO）の会議で良好な臨床データを示したことがともに材料となり、今後のライセンス供与契約の拡大が期待されるなか、株価が上昇しました。ASCOは、世界で最も権威のある最大級のがん関連会議の1つと広くみなされています。また、CRDMOやバイオテクノロジーサブセクターの保有銘柄の一部で部分的に利益確定売りを実施する一方、パイプラインに潜在的な価値があるとみている中国のバイオ医薬品企業のポジションを構築しています。

韓国は、市場リターンが前期間末比でマイナスとなるなかでも、銘柄選択によって良好なパフォーマンスとなりました。当ファンドでは非保有でしたが、韓国のミーム株（SNSなどで大きな注目を集めている株）で、同国内の個人投資家の間で人気の韓国のバイオテクノロジー企業は、開発した肝臓がん治療薬の併用療法で米国食品医薬品局（FDA）に承認される見込みであるとの見方を受けて、株価が2024年から2025年3月にかけて大幅に上昇していました。しかし、これが承認に至らなかったことから同社の株価は3月にピーク水準から50%程度の大幅下落となりました。一方、当ファンドが有望視している韓国のバイオ医薬品の受託生産大手と医薬品開発製造メーカーについては、堅調な業績と良好な臨床データの発表を受けて、セクターをアウトパフォームしました。韓国への最近のリサーチ出張を受けて、当ファンドでは韓国のバイオテクノロジー分野の展望に楽観的な見方を持っており、有望視する韓国のメドテック（Medical（医療）とTechnology（テクノロジー）を組み合わせたもの）およびバイオ医薬品企業をポートフォリオに追加しています。

インドでは、医薬品製造受託機関（CMO）、病院、国内の事業比率の大きい医薬品会社の投資比率を高めとしています。主要医薬品の特許失効が2026年の業績に悪影響を及ぼすとみられることに加えて、米国での医薬品輸入関税をめぐる不透明感が高まるなか、輸出比率が高い企業の保有を控えていたことも引き続き奏功しました。

（マネー・アカウント・マザーファンド）

運用の基本方針に従い、国庫短期証券の購入や現先取引、コールローンや金銭信託などを通じて、元本の安全性を重視した運用を行ないました。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指標を設定しておりません。

分配金

分配金は、基準価額水準や市況動向などを勘案し、以下の通りといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第21期
	2024年12月24日～ 2025年6月23日
当期分配金 (対基準価額比率)	— -%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	1,952

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの收益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

(当ファンド)

引き続き、「日興AMアジア・ヘルスケア・ファンド（JPYクラス）」受益証券を原則として高位に組み入れ、「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券への投資を抑制する方針です。

(日興AMアジア・ヘルスケア・ファンド（JPYクラス）)

米トランプ政権の「相互」関税政策が進展するなか、市場のボラティリティ（変動性）は高い状態が続くとみられます。ここ数カ月で特に注目すべき進展として、2025年5月に発表された米中間の合意で、当初90日の間、米国の対中追加関税は145%から30%へと引き下げられました。貿易戦争は、世界の製造業や輸出の重石になるとみられます。貿易政策が大幅な進展を見せ、6月にトランプ大統領と習近平国家主席が初めて今回の件で会談し、米中関係の改善期待が高まるなど、両政府の間で待ち望まれていた貿易交渉の道筋がつけられているものの、状況が不透明であることに変わりはありません。当ファンドでは、中国の政策支援は引き続き緩和的かつ支援的なものとなり、消費や企業活動を促進するとみています。また、中国では不動産市場に引き続き安定化の兆しが見られ始めているほか、低迷していた株式市場も反発の勢いが増しています。

アジアでは、バイオテクノロジーのイノベーションが進んでいるとみています。ここ数カ月の間に、中国のバイオ医薬品企業はグローバル展開を期待できるベスト・イン・クラス（既存薬に対して明確な優位性を持つ薬）およびファースト・イン・クラス（画期的医薬品）の分子を開発する能力を実証しており、中国の臨床試験データの強みが示され、これが世界の臨床試験で再現されています。大手製薬会社は、明らかにこれらの有望なアセットの取得に対して高い関心を持っており、ライセンスアウト契約が急増していることが見受けられ、中国のバイオ医薬品企業の世界の契約シェアは拡大しています。

韓国のヘルスケア市場も、過去5年間で非常に大きな変化が見受けられます。バイオ医薬品の受託生産大手は、世界最大の抗体医薬品の受託製造企業としての地位を確立し、世界の医薬品企業上位20社のうち17社を顧客として抱えています。韓国で開発されたブロックバスター医薬品（売上高の大きい画期的な新薬）となることが見込まれる2種類の製品が、米国や欧州連合（EU）を含め世界市場で発売されています。

当ファンドでは、今後10年間でアジア発の世界的なブロックバスター医薬品はさらに増えるとみています。また、アジアのヘルスケア市場は、過去10年で非常に大きく拡大しています。現在、ヘルスケアセクターには多くの新たなサブ産業が存在しており、ライフサイエンス、バイオテクノロジー、メドテック、病院、インターネットヘルスケア、そして将来性のあるAIの台頭などにより、地理的にもセクター的にもよりバランスの取れた分散投資が可能になっています。足元で非常に大きな変化が起きており、今後10年の間にさらなる変化が起きると予想しています。当ファンドでは、アジアのヘルスケアセクターで起きているこうした変化を捉えて、活かしていく方針です。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

(マネー・アカウント・マザーファンド)

引き続き、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なう方針です。主な投資対象は、わが国の国債および格付の高い公社債とし、それらの現先取引なども活用する方針です。また、コールローンや金銭信託などに投資することもあります。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願ひ申しあげます。

○ 1万口当たりの費用明細

(2024年12月24日～2025年6月23日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	円 58	% 0.576	(a)信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率
(投信会社)	(12)	(0.121)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(44)	(0.439)	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
(受託会社)	(2)	(0.016)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他の費用	2	0.025	(b)その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(監査費用)	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印刷費用等)	(2)	(0.023)	印刷費用等は、法定開示資料の印刷に係る費用など
合計	60	0.601	
期中の平均基準価額は、9,991円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しております。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

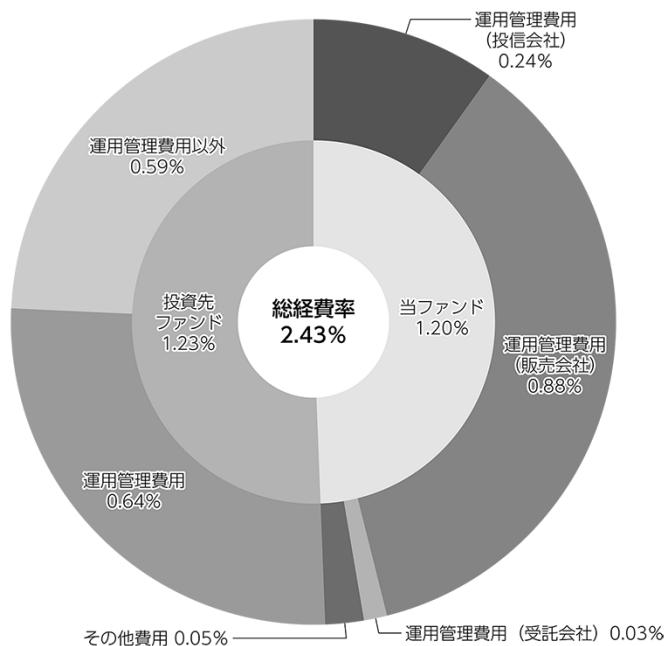
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しております。

(注) この他にファンドが投資対象とする投資先においても信託報酬等が発生する場合もあります。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.43%です。



(単位:%)

総経費率(①+②+③)	2.43
①当ファンドの費用の比率	1.20
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.64
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.59

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 「その他費用」には保管費用が含まれる場合があります。なお、「その他費用」の内訳は「1万口当たりの費用明細」にてご確認いただけますが、期中の費用の総額と年率換算した値は一致しないことがあります。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（親投資信託を除く。）です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2024年12月24日～2025年6月23日)

投資信託証券

銘柄	買付		売付	
	口数	金額	口数	金額
国内 日興AMアジア・ヘルスケア・ファンド（JPYクラス）	千口 —	千円 —	千口 317,954	千円 355,638

(注) 金額は受け渡し代金。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
マネー・アカウント・マザーファンド	千口 —	千円 —	千口 543	千円 545

○利害関係人との取引状況等

(2024年12月24日～2025年6月23日)

利害関係人との取引状況

<アジア・ヘルスケア株式ファンド>

区分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
投資信託証券	百万円 —	百万円 —	% —	百万円 355	百万円 355	% 100.0

<マネー・アカウント・マザーファンド>

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三井住友信託銀行株式会社です。
--

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2024年12月24日～2025年6月23日)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2024年12月24日～2025年6月23日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2025年6月23日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘柄	期首(前期末)	当期末		
	口数	口数	評価額	比率
日興AMアジア・ヘルスケア・ファンド（JPYクラス）	千口 4,722,603	千口 4,404,648	千円 5,162,688	% 98.9
合計	4,722,603	4,404,648	5,162,688	98.9

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

親投資信託残高

銘柄	期首(前期末)	当期末	
	口数	口数	評価額
マネー・アカウント・マザーファンド	千口 5,295	千口 4,751	千円 4,771

(注) 親投資信託の2025年6月23日現在の受益権総口数は、419,897千口です。

○投資信託財産の構成

(2025年6月23日現在)

項目	当期末	比率
	評価額	
投資信託受益証券	千円 5,162,688	% 98.2
マネー・アカウント・マザーファンド	4,771	0.1
コール・ローン等、その他	90,691	1.7
投資信託財産総額	5,258,150	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2025年6月23日現在)

項目	当期末
(A) 資産	円
コール・ローン等	5,258,150,156
投資信託受益証券(評価額)	90,688,468
マネー・アカウント・マザーファンド(評価額)	5,162,688,822
未収利息	4,771,656
未収利息	1,210
(B) 負債	37,134,394
未払解約金	6,403,201
未払信託報酬	29,455,897
その他未払費用	1,275,296
(C) 純資産総額(A-B)	5,221,015,762
元本	4,988,139,634
次期繰越損益金	232,876,128
(D) 受益権総口数	4,988,139,634口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,467円

(注) 当ファンドの期首元本額は5,315,491,596円、期中追加設定元本額は45,653,709円、期中一部解約元本額は373,005,671円です。

(注) 1口当たり純資産額は1.0467円です。

○損益の状況 (2024年12月24日～2025年6月23日)

項目	当期末
(A) 配当等収益	円
受取利息	180,838
(B) 有価証券売買損益	180,838
売買益	300,616,170
売買損	307,464,733
(C) 信託報酬等	△ 6,848,563
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 30,731,193
(E) 前期繰越損益金	270,065,815
(F) 追加信託差損益金	△104,628,991
(配当等相当額)	67,439,304
(売買損益相当額)	(122,378,826)
(G) 計(D+E+F)	(△ 54,939,522)
(H) 収益分配金	232,876,128
次期繰越損益金(G+H)	0
追加信託差損益金	232,876,128
(配当等相当額)	67,439,304
(売買損益相当額)	(122,378,826)
分配準備積立金	(△ 54,939,522)
繰越損益金	851,571,598
	△686,134,774

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程(2024年12月24日～2025年6月23日)は以下の通りです。

項目	2024年12月24日～ 2025年6月23日
a. 配当等収益(経費控除後)	166,479円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	122,378,826円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	851,405,119円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	973,950,424円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	1,952円
g. 分配金	0円

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上し処理しています。

○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金（税込み）	0円
----------------	----

○お知らせ

約款変更について

2024年12月24日から2025年6月23日までの期間に実施いたしました約款変更は以下の通りです。

- 当ファンドについて、運用報告書（全体版）は電磁的方法により提供する旨を定めている規定につき、投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に即した記載に変更するべく、2025年4月1日付けにて信託約款の一部に所要の変更を行ないました。（第50条）

その他の変更について

日興アセットマネジメント株式会社は、2025年9月1日よりアモーヴァ・アセットマネジメント株式会社に社名変更します。また、ホームページアドレスも「www.amova-am.com」へ変更となります。

※本書が、受益者の皆さまのお手元に届く際には、社名変更が行われている場合がありますので、ご留意ください。

当ファンドの主要投資対象先の直近の運用状況について、法令および諸規則に基づき、次ページ以降にご報告申しあげます。

種類・項目	日興AMアジア・ヘルスケア・ファンド（JPYクラス）
	シンガポール籍円建外国投資信託
運用の基本方針	
基本方針	信託財産の中長期的な成長を目指します。
主な投資対象	日本を除くアジアの医療関連企業の株式(預託証書を含みます。)を主要投資対象とします。
投資方針	<ul style="list-style-type: none"> ・日本を除くアジアの医療関連株式(預託証書を含みます。)を主要投資対象とします。 ・運用にあたっては、ボトムアップの企業分析とトップダウンのマクロ見通しを融合して、ポートフォリオを構築します。
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> ・株式への投資割合に制限を設けません。 ・一の発行体に対する投資割合は、原則として信託財産の純資産総額の10%以下とします。 ・外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 ・証券の空売りは行いません。
収益分配	原則として、毎年6月12日と12月12日(休日の場合は翌営業日)に分配を行ないます。なお、運用会社の判断により収益分配を行なわないことがあります。
ファンドに係る費用	
信託報酬など	純資産総額に対して年率0.65% (国内における消費税等相当額はかかりません。)
申込手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。
その他の費用など	事務管理費用、資産の保管費用、有価証券売買時の売買委託手数料、設立に係る費用、法律顧問費用、監査費用、信託財産に関する租税など。
その他	
運用会社	日興アセットマネジメント アジア リミテッド
信託期間	無期限
決算日	原則として、毎年12月末日

◆ポートフォリオ明細表

日興AMアジア・ヘルスケア・ファンド

2024年12月31日現在

地域別（第一区分）

上場株式

中国

	数量	公正価値 シンガポール・ドル	受益者に帰属 する純資産に 占める割合 %
AIER Eye Hospital Group Company Limited	97,405	239,825	0.52
CanSino Biologics Incorporated	102,800	568,699	1.24
CSPC Innovation Pharmaceutical Company Limited	81,370	402,051	0.87
Hansoh Pharmaceutical Group Company Limited	172,000	521,976	1.13
Innoven Biologics Incorporated	259,000	1,664,790	3.61
JD Health International Incorporated	119,000	587,262	1.28
Jiangsu Hengrui Pharmaceuticals Company Limited	166,317	1,418,559	3.08
Shenzhen Mindray Bio-Medical Electronics Company Limited	24,700	1,170,403	2.54
Shenzhen New Industries Biomedical Engineering Company Limited	59,700	785,981	1.70
WuXi AppTec Company Limited – Class A	49,000	501,156	1.09
WuXi AppTec Company Limited – Class H	104,200	1,033,939	2.24
WuXi Biologics Cayman Incorporated	668,500	2,061,601	4.47
中国合計		10,956,242	23.77

香港特別行政区

China Medical System Holdings Limited	690,000	914,902	1.98
HUTCHMED China Limited	156,500	619,783	1.34
香港特別行政区合計		1,534,685	3.32

インド

Apollo Hospitals Enterprise Limited	12,398	1,441,446	3.13
Cipla Limited	87,805	2,139,771	4.64
Divi's Laboratories Limited	22,721	2,208,071	4.79
Dr Reddy's Laboratories Limited	68,100	1,504,013	3.26
Enterco Healthcare Solutions Limited	20,326	461,263	1.00
Krishna Institute of Medical Sciences Limited	60,773	581,714	1.26
Mankind Pharma Limited	30,128	1,382,816	3.00
Max Healthcare Institute Limited	47,259	848,503	1.84
Piramal Pharma Limited	144,590	610,556	1.33
Rainbow Children's Medicare Limited	23,441	560,042	1.21
Sun Pharmaceutical Industries Limited	141,881	4,272,944	9.27
Torrent Pharmaceuticals Limited	9,589	513,405	1.12
インド合計		16,524,544	35.85

インドネシア

Kalbe Farma TBK PT	3,611,500	416,313	0.90
Medikaloka Hermina TBK PT	5,763,500	796,283	1.73
インドネシア合計		1,212,596	2.63

地域別（第一区分）（続き）

数量	公正価値 シンガポール・ドル	受益者に帰属 する純資産に 占める割合 %
----	-------------------	--------------------------------

上場株式（続き）

韓国

Alteogen Incorporated	2,919	837,196	1.82
Binex Company Limited	30,507	518,479	1.12
Celltrion Incorporated	16,319	2,835,484	6.15
Dongkook Pharmaceutical Company Limited	32,695	500,523	1.09
HK Inno.N Corporation	23,013	764,530	1.66
Samsung Biologics Company Limited	3,997	3,515,060	7.62
ST Pharm Company Limited	8,332	686,410	1.49
Yuhan Corporation	3,700	409,734	0.89
韓国合計		10,067,416	21.84

タイ

Bangkok Dusit Medical Services Public Company Limited	1,933,400	1,895,317	4.11
Chularat Hospital Public Company Limited	5,474,100	534,437	1.16
タイ合計		2,429,754	5.27

米国

BeiGene Limited	137,400	2,635,045	5.72
米国合計		2,635,045	5.72

上場株式合計

45,360,282 98.40

非上場株式

中国

China Animal Healthcare Limited	1,246,000	-	-
中国合計		-	-

非上場株式合計

45,360,282 98.40

投資ポートフォリオ			
その他純資産			
受益者に帰属する純資産			

739,119 1.60**46,099,401 100.00**

地域別（要約）	受益者に帰属する純資産に占める割合%
上場株式	
中国	23.77
香港特別行政区	3.32
インド	35.85
インドネシア	2.63
韓国	21.84
タイ	5.27
米国	5.72
上場株式合計	<u>98.40</u>
投資ポートフォリオ	98.40
その他純資産	1.60
受益者に帰属する純資産	<u>100.00</u>

業種別（第二区分）	公正価値 シンガポール・ドル	受益者に帰属 する純資産に 占める割合 %
バイオテクノロジー	8,383,594	18.19
商業サービス	-	-
ヘルスケア - 製品	2,871,286	6.22
ヘルスケア - サービス	10,494,263	22.76
医薬品	23,023,877	49.95
小売	587,262	1.28
ソフトウェア	-	-
投資ポートフォリオ	45,360,282	98.40
その他純資産	739,119	1.60
受益者に帰属する純資産	46,099,401	100.00

◆損益計算書

日興AMアジア・ヘルスケア・ファンド

2024年12月31日に終了した会計年度

2024年

シンガポール・ドル

収益

受取配当	382, 468
現金および現金同等物に係る利息	77, 397
	<hr/>
	459, 865

費用

運用報酬	301, 443
名義書換代理人報酬	2, 772
受託者報酬	14, 077
保管報酬	20, 851
監査報酬	30, 924
評価報酬	18, 769
取引費用	174, 486
その他費用*	85, 707
	<hr/>
	649, 029

純利益（損失）

(189, 164)

投資に係る純利益（損失）

投資に係る純利益（損失）	1, 124, 975
純為替差損	(114, 162)
	<hr/>
	1, 010, 813

税引前当期利益（損失）合計

821, 649

所得税

(46, 928)

税引後当期利益（損失）合計

774, 721

* 残高には本ファンドの監査人のネットワーク・ファームに支払われた非監査関連報酬が含まれるが、2024年度の同報酬額は9, 907シンガポール・ドルであった（2023年度の同報酬額はゼロ）。

マネー・アカウント・マザーファンド

運用報告書

第15期（決算日 2024年10月15日）
(2023年10月13日～2024年10月15日)

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2009年10月30日から原則無期限です。
運用方針	公社債への投資により、安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主要運用対象	わが国の国債および格付の高い公社債を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資は行ないません。 外貨建資産への投資は行ないません。

ファンド概要

主として、わが国の国債および格付の高い公社債に投資を行ない、利息等収益の確保をめざして運用を行ないます。ただし、市況動向に急激な変化が生じたとき、ならびに残存信託期間、残存元本が運用に支障をきたす水準となつたときなどやむを得ない事情が発生した場合には、上記のような運用ができない場合があります。

日興アセットマネジメント

<636843>

【運用報告書の表記について】

- 原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額	債組入比率		純資産額
		期騰	中落率	
11期(2020年10月12日)	円 10,025		% △0.0	% — 百万円 888
12期(2021年10月12日)	10,023		△0.0	— 1,125
13期(2022年10月12日)	10,022		△0.0	— 560
14期(2023年10月12日)	10,018		△0.0	— 458
15期(2024年10月15日)	10,023		0.0	61.8 437

(注) ファンドの商品性格に適合する適切なベンチマークおよび参考指数はございません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	債組入比率		券率
		期首	騰落率	
(期首) 2023年10月12日	円 10,018		% —	% —
10月末	10,018		0.0	—
11月末	10,018		0.0	—
12月末	10,017		△0.0	—
2024年1月末	10,017		△0.0	—
2月末	10,017		△0.0	—
3月末	10,017		△0.0	—
4月末	10,018		0.0	62.1
5月末	10,019		0.0	61.7
6月末	10,019		0.0	122.7
7月末	10,020		0.0	61.5
8月末	10,021		0.0	63.4
9月末	10,023		0.0	125.8
(期末) 2024年10月15日	10,023		0.0	61.8

(注) 謄落率は期首比です。

○運用経過

(2023年10月13日～2024年10月15日)

基準価額の推移

期間の初め10,018円の基準価額は、期間末に10,023円となり、騰落率は+0.0%となりました。

基準価額の変動要因

期間中、基準価額に影響した主な要因は以下の通りです。

<値上がり要因>

- 利息収入などを得たこと。

<値下がり要因>

- 無担保コール翌日物金利がマイナス圏で推移したこと（2024年3月中旬まで）。

(国内短期金利市況)

無担保コール翌日物金利は、期間の初めの-0.03%近辺から、日銀によるマイナス金利政策の下でコール市場でもマイナス圏での取引が続いたものの、2024年3月の金融政策決定会合においてマイナス金利政策の解除が決定されたことから、0.23%近辺で期間末を迎えることになりました。

国庫短期証券（T-B）3ヶ月物金利は、期間の初めの-0.21%近辺から、日銀による国債買入れの継続などを受けてマイナス圏での推移が続いたものの、2024年3月にはマイナス金利政策の解除が決定されたことから、0.00%近辺で期間末を迎えることになりました。

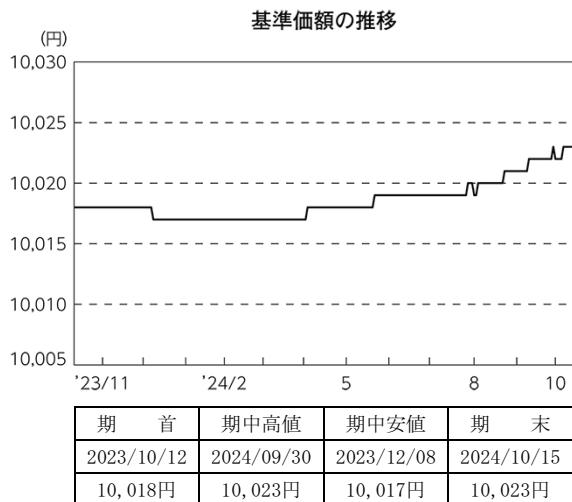
ポートフォリオ

運用の基本方針に従い、国庫短期証券の購入や現先取引、コール・ローンや金銭信託などを通じて、元本の安全性を重視した運用を行ないました。

○今後の運用方針

引き続き、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なう方針です。主要投資対象は原則として、わが国の国債および格付の高い公社債とし、それらの現先取引なども活用する方針です。また、コール・ローンや金銭信託などに投資することもあります。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。



○ 1万口当たりの費用明細

(2023年10月13日～2024年10月15日)

該当事項はございません。

○ 売買及び取引の状況

(2023年10月13日～2024年10月15日)

公社債

		買付額	売付額
国内	国債証券	千円 1,109,908	千円 — (840,000)

(注) 金額は受け渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) ()内は償還による減少分です。

○ 利害関係人との取引状況等

(2023年10月13日～2024年10月15日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2023年10月13日～2024年10月15日)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○ 組入資産の明細

(2024年10月15日現在)

国内公社債

(A) 国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区分	当期末						
	額面金額	評価額	組入比率	うちB級以下組入比率	残存期間別組入比率		
				%	5年以上	2年以上	2年末満
国債証券	千円 270,000	千円 270,001	% 61.8	% —	% —	% —	% 61.8
合計	270,000	270,001	61.8	—	—	—	61.8

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B)国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	当 期 末			
	利 率	額 面 金 額	評 價 額	償 還 年 月 日
国債証券 第442回利付国債（2年）	% 0.005	千円 270,000	千円 270,001	2024/11/ 1
合 計		270,000	270,001	

○投資信託財産の構成

(2024年10月15日現在)

項 目	当 期 末	
	評 價 額	比 率
公社債	千円 270,001	% 61.7
コール・ローン等、その他	167,275	38.3
投資信託財産総額	437,276	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2024年10月15日現在)

項	目	当	期	末
(A) 資産				円
コード・ローン等			437,276,405	
公社債(評価額)			167,267,314	
未収利息			270,001,845	
前払費用			1,588	
5,658				
(B) 負債			221,097	
未払解約金			221,097	
(C) 純資産総額(A-B)			437,055,308	
元本			436,053,084	
次期繰越損益金			1,002,224	
(D) 受益権総口数			436,053,084口	
1万口当たり基準価額(C/D)			10,023円	

(注) 当ファンドの期首元本額は457,205,640円、期中追加設定元本額は1,538,188,292円、期中一部解約元本額は1,559,340,848円です。

(注) 2024年10月15日現在の元本の内訳は以下の通りです。

・グローバル・プロスペクティブ・ファンド	237,562,073円	・グリーン世銀債ファンド	1,280,738円
・中華圏株式ファンド(毎月分配型)	38,584,684円	・全世界超分散株式ファンド	1,167,920円
・グローバルC o C o 債ファンド 円ヘッジコース	33,634,245円	・アジアR E I T オープン(毎月分配型)	1,014,121円
・グローバルC o C o 債ファンド ヘッジなしコース	30,989,423円	・日興マネー・アカウント・ファンド	991,460円
・エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド(マネーブールファンド)	11,116,700円	・S M B C ・日興世銀債ファンド	735,767円
・エマージング・プラス(マネーブールファンド)	9,867,236円	・エマージング・プラス・円戦略コース	632,814円
・アジア社債ファンド Bコース(為替ヘッジなし)	8,603,589円	・欧州社債ファンド Bコース(為替ヘッジなし)	493,868円
・資源株ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルリアルコース>(毎月分配型)	6,991,228円	・ビムコUSハイインカム・ローン・ファンド(毎月分配型)為替ヘッジあり	464,211円
・ビッグデータ新興国小型株ファンド(1年決算型)	6,370,940円	・世界標準債券ファンド(1年決算型)	257,210円
・インデックスファンドM L P(毎月分配型)	6,328,612円	・欧州社債ファンド Aコース(為替ヘッジあり)	170,279円
・エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド・ブラジルリアルコース	5,593,790円	・上場インデックスファンド海外新興国株式(MSCIエマージング)	99,902円
・アジア・ヘルスケア株式ファンド	5,344,019円	・上場インデックスファンド海外先進国株式(MSCI-KOKUSAI)	19,997円
・世界標準債券ファンド	5,191,662円	・上場インデックスファンド米国株式(S&P500)	19,983円
・インド株式フォーカス(奇数月分配型)	2,872,528円	・上場インデックスファンド豪州リート(S&P/ASX200 A-REIT)	19,977円
・グローバル株式トップフォーカス	2,846,134円	・上場インデックスファンド新興国債券	9,981円
・エマージング・プラス・成長戦略コース	2,706,787円	・上場インデックスファンドフランス国債(為替ヘッジなし)	9,979円
・ビムコUSハイインカム・ローン・ファンド(毎月分配型)為替ヘッジなし	2,532,696円	・上場インデックスファンドフランス国債(為替ヘッジあり)	9,979円
・グローバル・ダイナミックヘッジ ^a	2,228,627円	・上場インデックスファンド豪州国債(為替ヘッジあり)	9,978円
・アジア社債ファンド Aコース(為替ヘッジあり)	2,218,763円	・上場インデックスファンド豪州国債(為替ヘッジなし)	9,978円
・アジアリートファンド(毎月分配型)	2,060,809円	・上場インデックスファンド米国株式(S&P500)為替ヘッジあり	9,967円
・インデックスファンドM L P(1年決算型)	1,773,909円	・上場インデックスファンド米国債券(為替ヘッジなし)	9,958円
・D C 世界株式・厳選投資ファンド	1,724,483円	・上場インデックスファンド米国債券(為替ヘッジあり)	9,958円
・資源株ファンド 通貨選択シリーズ<米ドルコース>(毎月分配型)	1,462,122円		

(注) 1口当たり純資産額は1,0023円です。

○損益の状況

(2023年10月13日～2024年10月15日)

項	目	当	期
			円
(A) 配当等収益		144,077	
受取利息		163,324	
支払利息	△	19,247	
(B) 有価証券売買損益		93,845	
売買益		152,596	
売買損	△	58,751	
(C) 当期損益金(A+B)		237,922	
(D) 前期繰越損益金		806,434	
(E) 追加信託差損益金		2,619,859	
(F) 解約差損益金		△2,661,991	
(G) 計(C+D+E+F)		1,002,224	
次期繰越損益金(G)		1,002,224	

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約額を差し引いた差額分をいいます。

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上し処理しています。

○お知らせ

約款変更について

2023年10月13日から2024年10月15日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。